

言葉がつなぐ世界遺産（橋本典明） フローチャート

日光の建造物



装飾が絢爛豪華



世界遺産



文化財にとっては厳しい自然環境



雨が多く、冬になると雪に閉ざされてしまう



湿気が、建物や彫刻をむしばんでいく



漆や絵の具が剥落し、輝きを失ってしまう



定期的な修復、保全がすごい！



① 「修復記録の蓄積」

細かな技法や微妙な色合いなどの表現方法を

絵だけで完全に伝える事は難しい



文字で書き留める



「言葉による情報」が欠かせない

② 「世代を超えた技術の伝承」

現代では技術の伝承はいっそう難しくなっている



技術者達が口移しで彩色技術の詳細を伝えながら、修復する



ここでも、技術を受け渡していくのは言葉なのである



ただの師弟の間だけで技術を受け渡すのではない



「江戸時代から連綿と技術を伝承してきた職人の連なりの最後尾」

||

「長い伝承技術の最後尾」



職人たちは、絵や文字で記録を残すとともに、直接言葉で語ることで、技法や技術などを伝えてきた。